

# Frames and Framings in a transdisciplinary perspective II :

'Creating Worlds' in Classical Knowledge Systems  
フレームの超域文化学 II 世界認識と古典知

2016年7月31日 (日) 15:30~20:00

学習院大学百周年記念館小講堂

マホトカ・エヴァ (ライデン大学)

アンドリュー・ワツキー (プリンストン大学)

板倉聖哲 (東京大学東洋文化研究所)

鈴木健一 (学習院大学)

風景画としてのパレルゴン: 19世紀初期の印刷文化における自然の描写

フレームとしての茶湯 —16世紀を中心に—

フレームとしての屏風 —唐時代屏風壁画に注目して—

詩のことばにとってのフレーム

朴亨國 (武蔵野美術大学)

加須屋誠 (奈良女子大学)

長岡龍作 (東北大学)

インド文化圏における聖なる場(神域)の条件 —クメール遺跡を中心に—

臨終行儀 —現世と来世の境界をめぐって—

フレームとしての寺院空間と仏像

2016年8月1日 (月) 10:00~18:00

学習院大学南3号館

佐野みどり (学習院大学)

マサコ・ワタナベ (元メトロポリタン美術館)

フランク・フェルテンズ (フリア美術館)

岡美穂子 (東京大学史料編纂所)

藤原重雄 (東京大学史料編纂所)

高岸輝 (東京大学)

メラニー・トレーデ (ハイデルベルク大学)

塚本啓充 (東京大学東洋文化研究所)

南宋宮廷における北宋宮廷コレクションの記憶 —北宋宮廷文物と表具の再評価をめぐって—

レイチェル・サンダース (ハーバード大学美術館) 聖なる絵巻をつくる: 中世絵巻における間テキスト性の力

メリッサ・マコーミック (ハーバード大学)

源氏絵の輝き: 物語絵と世俗性の再考

統括

基調講演

幻の源氏物語絵巻に見るく当風」というフレーム

光琳と中世絵画の枠組み

《救済》手段としてのキリシタン宗教画 —現世利益と昇天への道—

「洛中洛外図屏風」成立の枠組み

日本中世絵画にみる風景観・国土観・世界観

トランスカルチュラル出合いにおけるフレーム: パースペクティブに関する日中・欧の相互鑑賞

主催: 科学研究費 基盤研究(B)

中近世絵画における古典の変成と再結晶化—話型と図様

参加ご希望の方は [daigamen@gmail.com](mailto:daigamen@gmail.com) までご連絡ください